

ヒバ林復元プロジェクト

■取組の背景

1 青森ヒバ資源量の減少

日本三大美林に数えられる青森ヒバの天然林。かつて津軽半島及び下北半島に豊富にあった資源量は近年減少。

2 天然更新によるヒバ稚樹の発生

一方で当該地域のスギ等人工林の中には天然更新によるヒバの発生が旺盛な箇所が存在。



■ヒバ林の復元

津軽・下北半島に「ヒバ林復元推進エリア」を設定し、主に天然更新によりヒバ林を復元。

復元に向けた取組内容

かつてヒバ林が成立していた地域において、主に天然力を活用してスギ・カラマツ等の人工林からヒバ林への誘導に向けた取組を推進。



伏条更新



実生更新

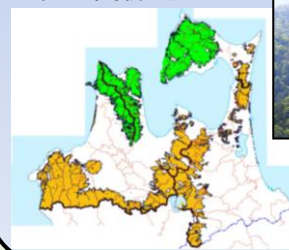
ヒバを上層木とする林分に誘導



稚幼樹の生育を促進



林内の中小径木



ヒバ林復元推進エリア

その他
国有林

将来の姿



平成29年度の取組

①復元の着手

	青森署	金木支署	下北署	合計
箇所数	4	1	4	9
設定面積 (ha)	12.70 (4.33)	11.27	4.65	28.62 (4.33)
作業方法	漸伐*1 (伐前下刈)	複層伐*2	皆伐*3	—

注) *1: 立木の半分程度を伐採すること
*2: 立木の1/3程度を伐採すること
*3: 立木を全て伐採すること

②復元手法の検証

■「フォローアップ調査」の実施

- 1 ヒバ等の生育に関する調査
- 2 成長阻害要因に関する調査
- 3 伐採による影響に関する調査

③連携・協働の始動

◆「ヒバ林復元プロジェクト連携推進協議会」の設立

地方公共団体・林業関係団体・ボランティア団体等

構成員

・連携・協働してヒバ復元を推進

目的

・連携・協働方策の検討
・普及啓発方策の検討 等

取組事項

■「ヒバ林復元プロジェクト推進チーム」の立ち上げ

研究機関+3(支)署

・ヒバの施業技術の向上
・ヒバの施業方法の確立

・プロジェクトの取組に関する情報共有
・復元箇所の施業方法に係る検証
・ヒバ施業方法に関する文献等の収集・整理